

2021年6月29日

本校高等部生徒・保護者各位

筑波大学附属桐が丘特別支援学校長

下山 直人

## 高等部におけるICTを活用した授業について

日頃より、当校の情報教育の充実に向けて御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。高等部においては、入学時より、生徒が一人一台の端末(タブレット)を所持し、その利用を促進することにより、自ら探求できる生徒の育成、進路を切り開くICT活用を目指しています。

今年度に入り、校内におけるインターネット環境が整い、5月以降は御用意いただいたタブレット端末を校内のネットワークに接続し、授業場面等でも利用することが可能となりました。通常の授業でもICTを活用した取り組みが可能となり、生徒が自ら問題を見つけて調べたり、GoogleClassroomを本格的に活用したりできるようになりました。

今回は、中・高等部情報教育全体計画及びオンライン授業の趣旨や方法等について、改めて生徒及び保護者の皆様に周知し、情報教育とICT活用の一層の充実を図ることとします。

### I. 中・高等部情報教育全体計画

#### 1. 情報教育の目標

情報及び情報技術並びにプログラミングに関する知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養を目指すとともに、各教科等で学ぶ知識及び技能等をより確実に身に付けることができるようにする。

#### 2. 目指す桐が丘情報教育の姿

##### ①入学時より一人一台の端末(タブレット)の所持と有効活用

- ・学校での学習及び家庭での学習での活用(遊びの道具から身を立てる道具へ)
- ・自分専用機への調整(カスタマイズ)
- ・ICT活用とともにICTモラルの形成

##### ②自ら探求できる児童生徒の育成

- ・自ら問題を見付け、調べ、考える授業の追求(タブレットの活用)
- ・ICTを効果的に活用した授業(紙の教科書とタブレット等の調和のとれた活用等)
- ・障害による困難の軽減(上肢操作、コミュニケーション困難の軽減)
- ・全国の仲間との共同追求

##### ③進路を切り開くICT活用

- ・在学中に端末を一人で高度に活用する力の育成  
(自分用への調整、他の機器との連携等)
- ・学習だけでなく進路においても活用できるICTスキルの育成  
(ワープロ・表計算にとどまらないICTスキル)

## II. オンライン授業

### 1. 趣旨

生徒たちの学びを止めることなく、学習を進めることができるよう、下記の状況の際に、授業を提供するための教員配置および配信するICT環境が整った場合には、オンライン授業を提供いたします。

- 新型コロナウイルスにおける緊急事態宣言下などにおいて、学校が学部全体で登校を中止した場合
- 新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、登校自粛を希望する生徒に対し、学校長が承認した場合
- 病院等に入院し、登校して授業を受けることができない生徒に対し、学校長が承認した場合

### 2. オンライン授業について

#### (1) 連絡の方法

授業担当者より GoogleClassroom を用いて授業に関する連絡（授業の接続先や授業プリントのデータ提供など）を行います。

教員から生徒向けの連絡は、原則 8 時 30 分～17 時までの間に行います。

ただし、緊急な連絡が必要な場合には、この時間外に連絡をする場合があります。

なお、緊急な場合は、授業準備に関して無理がないようにいたします。

#### (2) 授業準備に関する補足事項

通常とは異なる教材や道具の準備、課題・動画の配信等については、事前にクラスルームを通じて連絡いたします。

#### (3) アプリの使用

授業に通常インストールされていないアプリを使用する場合、事前に生徒と保護者に必要な理由を説明し、理解を得ることにいたします。

#### (4) オンライン授業への配慮事項

家庭の体制（印刷や介助の条件、パスワード等）を考慮しながら実施いたします。

### 3. 生徒への連絡について

進路指導など、個別性の高いものは、電話またはメールによる連絡といたします。教員から生徒への連絡は、学校から配布しているメールアドレスを使用します。

ただし、その生徒の担任でない場合（授業担当者や進路担当者など）が連絡を取る場合は、事前に担任に報告し、担任を Cc に含めるなど、情報を共有いたします。

### 4. その他

生徒への説明は、本人が理解できるように努めます。